



「スカイウォーカーの夜明け」コカコーラボトルの 分解

iFixitが行なった、有機EDライトが点灯するStar Warsのコカコーラボトルの分解です。プラスチックラッピングの中に、どうやってOLEDとバッテリーが詰め込まれているのかを解明しました。

作成者: Taylor Dixon



はじめに

想像してみてください。映画館のシートに座って、「スカイウォーカーの夜明け」がいよいよ始まるのを待っている姿を。冷えたコカコーラのボトルを開けて、喉の渇きを癒します。その時、手元でライトセーバーが点灯しているのです！あなたは最後のジェダイ、フォースにバランスを与えるために選ばれた一人なのです！

その時、ぱっと目が覚めて、それが夢だったと気づきます。(徹夜で「マンダロリアン」シリーズを観ないようにしましょう) このコカコーラの最新キャンペーンは、光るボトルに入ったシュガーフリーのソーダを飲むためのものです。このプラスチックラベルの中にどうやってバッテリーや OLED が詰め込まれているのでしょうか？それを見つけるのは、分解だけが残された手段です。

スターウォーズのマニアトークに参加しませんか？(でもネタバレはしないでください！)

[Instagram](#)、[Twitter](#)、[Twitter日本語版](#)をフォローして、分解の最新情報を手に入れましょう。もしくは、[ニュースレター](#)に登録してください(英語配信)。

ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [Lightsaber](#) (1)

手順 1 — 「スカイウォーカーの夜明け」コカコーラボトルの分解



- このボトルに付いてくるものは、
 - Zeroシュガー
 - Zeroカロリー
 - 高度文明社会にはエレガントなウェポン
 - 眠たい午後を乗り切るためのカフェインパンチ
- ① この限定版ボトルを届けてくれたBryan Lee (Twitterアカウント@bryandmlee)に感謝します。この分解が命を脅かす危険や動けなくなってしまうことがないように願っています。
- フォースの力にはX線ビジョンも入っているのでしょうか？というのも友達の[Creative Electron](#)には、そういう力が備わっているからです！

手順 2



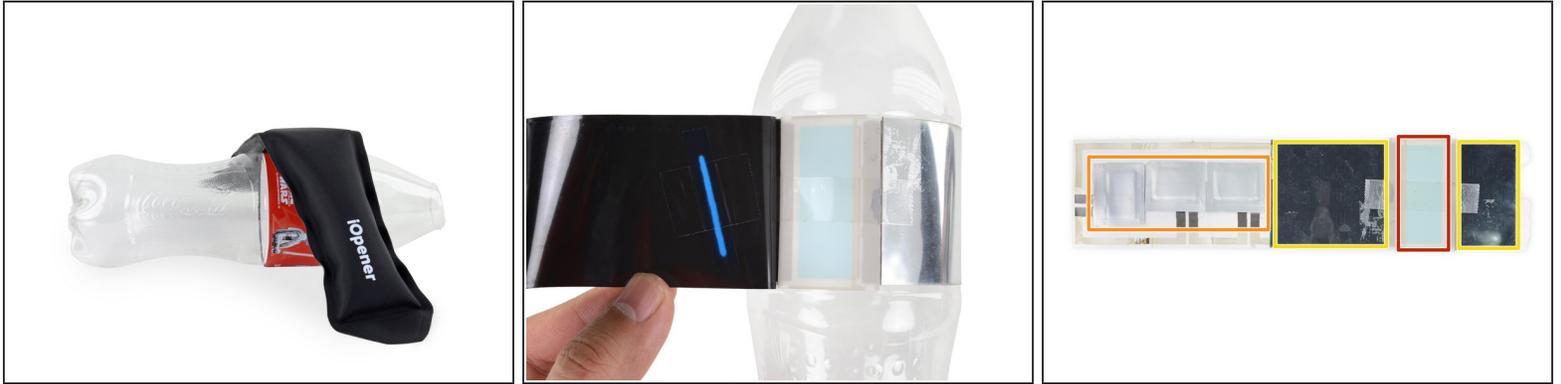
- 本物のライトセーバーと比較をせずに、このライトセーバーボトルの分解を始めるなんてできません！
- ① この”スクラップメタル”は惑星バトゥーに行った密輸入業者が拾ったものです。
- 私たちのコーラボトルが対決を始めました。しかもフォースの全開パワーがみなぎると、わずかに光が点灯します！
- スカイウォーカーの夜明けを観れば、どちら側が勝利するか本当の答えが分かるはずですが、しかし、ネタバレなしの個人的意見では、どちらのセーバーもとてもカッコいいです。

手順 3



- 分解を始める前に、このコカコーラの中身を出さなければなりません...
 - キャップを外すには、[ライトセーバー](#)のpowerを入れて、慎重にボトル上部をスライスします。
 - どうやらこの内側のものを、分解という名の下に、飲み干さないといけないようです。
- ① このボトルはシンガポール限定ですが、地元のGalaxy's Edge(ディズニーランド)で[マニア向け限定版コカコーラ製品](#)を購入できます。そして[TSA\(空港の保安検査\)の持ち込み制限をクリア](#)できます！ #notsponsored #wejustlikestarwars

手順 4



- このライトセーバーの分解は破壊的なものとなるため、[iOpener](#)を使って、プラスチックラベルの下に留められた接着剤を柔らかくします。
- ついに内部が現れました！これは普通のコーラのボトルではありません。
- ① 大きなブルーのパネルがこのライトセーバーの光です。すなわち、“シングルピクセル”のOLEDパネルです。OLED自体は白く点灯しますが、巻かれたカラーフィルターによって色が分かります。ラベルの残りにライナーが付けられて、光が漏れないようブロックしています。
- 慎重に裏紙付きの回路を剥がして見つけたものは、
 - OLEDパネル
 - カイバータリスタルバッテリーパック
 - メンブレン(薄膜)スイッチ

手順 5



- この飲料タイプのライトセーバーの分解はおしまいです！
- この限定版ボトルの製造メーカー、[Inuru](#)は、このテクノロジーを使ったスマートラベルの時代が幕開けることを願っています。
- Inuruはエコフレンドリーな材料を使用したと発表していますが、このスマートラベルがメインストリームになってしまえば、どれだけの電子廃棄物が投棄されてしまうだろうかと危惧せずにはいられません。他の言い方をすれば、これは私たちが求めている未来ではありません。
- しかしながら、これはとてもカッコいいボトルであることは否定できません。私たちのリペアビリティのスケールはどうでしょうか？
- うーん、考え悩みます。